



2020年10月15日

仏・ロレアル・ユネスコ女性科学賞の受賞者2名が 歴史的なノーベル化学賞の栄誉

— 1964年以来の画期的な決断を歓迎、女性科学者の活躍を後押し —

世界最大の化粧品メーカーである仏・ロレアルグループ(本社:パリ)は、10月7日に「ロレアル・ユネスコ女性科学賞」の2016年の受賞者エマニュエル・シャルパンティエ教授とジェニファーA.ダウドナ教授の2名が、ゲノム編集の画期的な手法の研究成果が評価され、歴史的なノーベル化学賞を受賞したことを発表しました。

両研究者は、「Crispr/Cas9」や「分子のハサミ」と呼ばれる、ヒトの遺伝子を改変することができるメカニズムを開発しました。この画期的な研究を称え、両名に2016年ロレアル・ユネスコ女性科学賞が授与されています。

ノーベル賞を女性のみが受賞したのは1964年以後のことです。「ロレアル財団はこの画期的な決定を歓迎し、エマニュエル・シャルパンティエ教授とジェニファーA.ダウドナ教授に心よりお祝い申し上げます。今日、私たちはかつてないほどの健康、社会、経済の危機に直面しています。世界は科学を必要とし、科学は女性を必要としています。」とロレアル財団エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントのアレクサンドラ・パルトはコメントしています。「世界における研究者の中で女性が占める割合は、わずか29%にとどまっています。このことは、研究の質に直接的な影響を及ぼしていると言えるでしょう。1901年にノーベル賞が創設されて以来、621名の科学者が、物理、化学、医学・生理学の分野で受賞していますが、女性の受賞は22名に留まっています。」

この度、エマニュエル・シャルパンティエ教授とジェニファーA.ダウドナ教授がノーベル賞を受賞したことで、ロレアル・ユネスコ女性科学賞の受賞者で、ノーベル賞を受賞した研究者は計5名に上ります。過去の受賞者は、クリスティアーネ・ニュスライン・フォルハルト(1995年にノーベル医学・生理学賞)、アダ・ヨナス(2009年にノーベル化学賞)、エリザベスH.ブラックバーン(2009年にノーベル医学・生理学賞)です。

また、日本ロレアルでは、2005年に「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を創設し、物質科学または生命科学の2分野における博士後期課程に在籍または、同課程に進学予定の若手女性科学者を支援しています。各分野からそれぞれ2名(計4名)を毎年選出し、受賞者には、奨学金100万円が贈られます。これまでに約60名の女性科学者が本賞を受賞し、各分野で活躍しています。16年目を迎える2021年「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」は11月下旬に募集開始を予定しています。

ロレアルグループについて (<https://www.loreal.com/>)

仏・ロレアルは、100年以上にわたって美に捧げてきました。36の多様で国際的で独自のブランドポートフォリオを有し、2019年のグループの売上高は298.7億ユーロ、社員数は88,000人です。世界有数の化粧品会社であるロレアルは、マス市場から百貨店、調剤薬局、ドラッグストア、美容院、トラベルリテールや旗艦店、Eコマースなど、あらゆる流通チャネルで展開しています。4,100名の研究員を有し、研究開発をグループ戦略の基幹に置き、世界中の人々の美への熱望を叶えるために日々活動しています。研究員のうち、女性が占める割合は70%に上ります。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/>)

1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2019年時点で2,670人の従業員を有し、17のブランドを取り扱い、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。1983年に日本に研究開発拠点を置き、現在、日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター(川崎市・溝の口)として、日本をはじめ、アジアの研究開発の中心的な役割を担っています。200名以上の研究者を有し、うち女性研究者は56%を占めています。2005年から生命・物質科学分野における博士後期課程在籍または進学予定の若手女性科学者を支援する奨学金「[ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞](#)」を推進しており、2020年を含め、59名の若手女性科学者が受賞しています。

ロレアル財団と「ロレアル・ユネスコ女性科学賞」プログラムについて

ロレアル財団は、グループのDNAの中核である科学研究と包括的な美の2分野で、世界中の女性が、それぞれの目標を実現できるように支援をしています。ロレアル財団は国連ユネスコとのパートナーシップのもと、「世界は科学を必要とし、科学は女性を必要としている」という理念を礎に、女性科学者の支援プログラム「ロレアル・ユネスコ女性科学賞」を1998年に立ち上げました。プログラム開始以来、22年間で116か国、3,400名以上の女性科学者を支援、顕彰しています。さらに、ロレアル財団は、美は自己確立の過程で重要な位置を占め、包括的な社会の実現を後押しするという信念のもと、脆弱な立場におかれている女性を対象に、美のプロフェッショナル分野における無料の研修プログラムを展開しています。

また、医療と社会的な文脈において、身体的、精神的、社会的に困難な立場におかれている女性や、再建手術などの分野における美と健やかなくらしに対する支援も提供しています。